

《 リーフレット内側 》

認知症ケアパス		
<ul style="list-style-type: none"> <li>正常レベル、MCIの欄を詳しく</li> <li>正常レベルに<b>予防対策</b>を入れる ⇒リーフレットの対象者に成人期、壮年期層も入ることができる</li> </ul> <p>予防策 アミロイドβを増やさないために 生活習慣病、喫煙、飲酒、難聴、栄養、睡眠 運動習慣、うつ、社会参加など</p>		
地域のサポート体制		
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス名を進行状態に合わせて入れる</li> </ul>		<p>QRコードを付ける 「新見市介護保険サービスのご案内」の 最新版の情報を観ることができる</p>

《 リーフレット外側 》

中折り	裏表紙	表紙
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェについて カフエの紹介や地図など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座について</li> <li>ステップアップ講座について</li> <li>本人座談会について</li> <li>オレンジの会について</li> </ul>	<p>リーフレットのタイトル →リーゾールドカロボ隊長の写真</p> <p>パンフレットの使い方の説明</p> <p>新しい認知症観を表示</p> <p>相談場所(連絡先)</p>








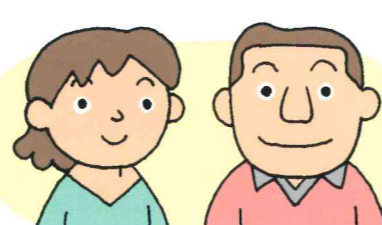
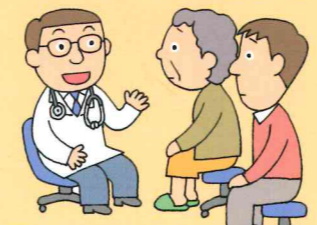

「新しい認知症観」とは

認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしくくらし続けることができるという考え方

# 認知症ケアパス一覧表

認知症ケアパスとは、進行する認知症の状態にあわせて、どのような支援が必要になるのか大まかな目安を示したものです。

※症状の現れ方には個人差があります

正常なレベル		軽度認知障害 (MCI)		認知症	
		軽度		中等度	
		軽度		重度	
認知症の進行		<b>認知症の疑い</b> ※もの忘れは多いが、自立して生活できる	<b>症状はあっても日常生活は自立</b>	<b>見守りがあれば日常生活は自立</b>	<b>日常生活に手助けや介護が必要</b>
本人の様子		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同じことを何度も繰り返し聞く</li> <li>● 日にちや曜日が時々わからなくなる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通帳や印鑑などの置き場所がわからなくなる</li> <li>● 約束を忘れる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 季節にあった洋服を着ることができなくなる</li> <li>● 計画や段取りどおりに行動ができない</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外出した時、道に迷うことがある</li> <li>● 着替えや食事、トイレなどがうまくできない</li> </ul> 
対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人と一緒に認知症予防の取り組みを実践する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気になりはじめたら歳のせいせず、早めにかかりつけ医や各種相談窓口にご相談する</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人の不安を和らげる</li> <li>● 見守る人を増やす</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全対策を考える</li> <li>● 医療のサポートを受ける</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護サポートを活用し、人の助けを借りる</li> <li>● 見守り体制を充実させる</li> </ul> 
地域のサポート体制	相談	かかりつけ医 / 若年性認知症コールセンター / 市役所(高齢介護課や健康増進課など) / 地域包括支援センター / 認知症初期集中支援チーム / 社会福祉協議会 / 認知症の人と家族の会 / 民生委員・児童委員 / 愛育委員・栄養委員			
	生きがいづくり	老人クラブ / 公民館活動 / ふれあいサロン / こけいからだ講座 / 老人福祉センター シルバー人材センター 認知症カフェ		通所型サービス 通所リハビリテーション	
	見守り (安否確認・緊急時支援)	緊急通報サービス / つやま見守ろうねット / 警察署 / 消防署 / 消防団 / 郵便局 / 認知症高齢者等SOSメール 配食サービス / 認知症サポーター 民生委員・児童委員 / 愛育委員・栄養委員 / 地域住民			
	家族を支援	認知症カフェ / 認知症の人と家族の会 / 介護者の会 / 民生委員・児童委員 / 愛育委員・栄養委員 / 地域住民 小規模多機能型居宅介護 短期入所生活介護 / 短期入所療養介護			



# 認知症の症状の変化と対応 ケアパス

認知症は原因疾患や身体状況によって経過が異なり、その人に合わせた対応や支援が大切です。



## 抱え込まずに、まず相談！

認知症の症状の変化	物忘れはあるが生活は自立	そろそろ見守りが必要	手助けが必要	常に手助けが必要	介助なしでの生活が困難
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>財布の中に小銭が増える</li> <li>物忘れが多くなる</li> <li>会話の中に「あれ」「それ」など代名詞がよく出てくる</li> <li>片付けが苦手になる</li> <li>物が無くなる</li> </ul> <p>なんとなくおかしい？と感じて不安に…</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理が難しくなる</li> <li>探し物をする時間が増える</li> <li>必要な物を必要なだけ買うことができない</li> <li>同じことを繰り返し聞く</li> <li>火の消し忘れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬を間違えて飲む</li> <li>たびたび道に迷う</li> <li>季節にあった服が選べない</li> <li>家電の操作が難しくなる</li> <li>生活リズムが乱れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの場所がわからない</li> <li>道に迷って帰ってこられない</li> <li>日にちや季節がわからなくなる</li> <li>洋服の着方がわからない</li> <li>食べ物でないものを口に入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で食事ができなくなる</li> <li>会話でのコミュニケーションが難しい</li> <li>表情が乏しくなる</li> <li>歩行が困難</li> <li>起き上がるのに介助が必要</li> </ul>
家族の気持ちと対応	<p>物忘れを年のせいにしてしまう。悩みを抱え込んでしまいがち。</p> <p>→ 一人で抱え込まずに誰かに相談することが大事。その人に合った環境調整や家族の理解が今後の症状の変化に影響します。また、家族自身の気持ちも落ち着きます。</p> <p>認知症カフェやサロン等に参加すると色々な情報が得られます！</p>		<p>本人の行動や心理状態への対応に悩み戸惑う。</p> <p>→ 周囲に隠さず話すと気持ちが楽になり、理解や協力も得られます。</p>	<p>症状を理解し対応が上手になってくる。しかし、本人の失敗が増え介護疲れを感じる。休みたくなる。</p> <p>→ 自分のリラックスできる時間も大事にしましょう。</p>	<p>最後の過ごし方や看取りが心配。</p> <p>→ 元気なうちに本人の意向を確認し、記録に残しておきましょう。</p>
本人や家族がやっておきたいこと決めておきたいこと	<p>地域の活動やサークル等、今までやってきたことを続けましょう。</p> <p>→ 友人や地域とのつながりを大切にしましょう。</p> <p>→ 地域包括支援センターや、かかりつけ医に相談してみましょう。</p> <p>大事なことはメモに書き留めましょう。</p>	<p>→ 一日の計画を立てて行動してみよう。</p> <p>→ 外出の機会を持ちましょう。</p> <p>→ 本人の話をじっくり聞きましょう。</p> <p>→ これからについて一緒に考えましょう。</p>	<p>→ できることは続けましょう。</p> <p>→ 大変なことは、周りの人に手伝ってもらいましょう。</p> <p>→ 周囲との関わりを持ち続けましょう。</p> <p>→ 施設での生活を希望する場合は早めに見学しておきましょう。</p> <p>→ 将来に備えて、成年後見制度等の利用について検討しましょう。</p>	<h3>対応のポイント</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくり短い言葉で少しずつ伝えましょう。</li> <li>説得や否定はせず、気持ちを受け止めましょう。</li> <li>手をにぎる、背中をさする等スキンシップをとり、安心させましょう。</li> </ul>	
介護保険	申請の相談		介護認定の取得、介護サービスの利用		



## 認知症の方や家族への支援体制

### 予防

介護予防、日常生活支援総合事業  
認知症サポーター養成講座

### 介護

ホームヘルプサービス、デイサービス  
ショートステイ、小規模多機能型居宅介護など

### 地域での支え合い

老人クラブ、地区のサロン  
認知症カフェ・サロン、認知症サポーター

### 医療

かかりつけ医、歯科医、薬局  
認知症初期集中支援チーム  
認知症疾患医療センター  
訪問歯科診療、訪問薬剤師、訪問看護

### 相談

新見市地域包括支援センター、新見市高齢介護課  
新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく  
さきがけクリニック、さきがけホスピタル  
ケアマネジャー、民生委員

### 住まい

認知症グループホーム、介護保険施設など

### 生活支援

配食サービス、移送サービス、成年後見制度



詳しいサービスを紹介した冊紙があります。新見市ホームページからダウンロードできます。また、新見市地域包括支援センターでもお渡しいたします。